

松の前池

(まつのまえいけ)



ため池の全景



渡り鳥の中継地としてのため池

ため池の概要

ため池の所在地

鹿児島県大島郡和泊町(沖永良部島)

ため池の特徴

松の前池は、島に伝わる世之主伝説にまつわる古い歴史を持つ池で、現在は島内257haの畑(サトウキビ、ばれいしょ、ユリなど)のかんがい用水として利用されており、島の農業に欠かせない水がめです。

ため池の改修(平成17年度)にあたっては、生態や景観に配慮した池として「自然との共生」をテーマとしてかけ、池の沿岸部は浅い外堀を設けて水生植物の保存を行い、また自生しているヒトモトススキ、ヒメガマは移植するなどの対策を行いました。

改修後2年間かけて環境調査を実施した結果、チュウサギやサシバ等の絶滅危惧種の鳥数種類が確認され、また渡り鳥も多く、松の前池がグローバルな飛び石ネットワーク「渡り鳥の中継地」として重要な池であることも判明しました。

平成20年度には、探鳥会、昆虫会、植樹祭等の住民参加イベントを行い、地域の人々に池の重要性、貴重さを伝える取り組みが行われています。

関連情報